

チャレンジ業者

募集要項

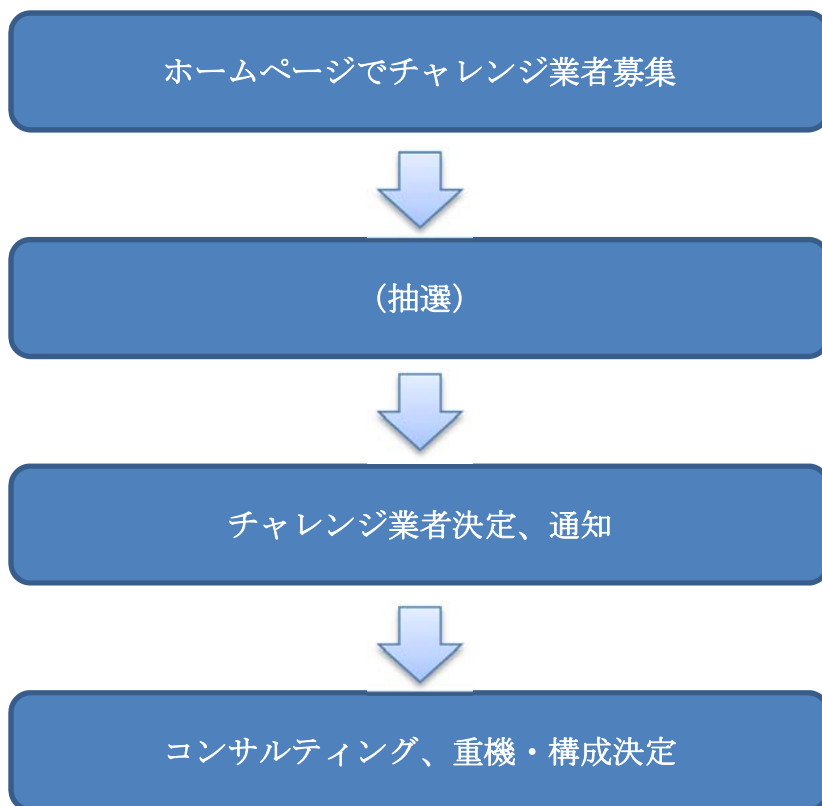
日本建設機械施工協会

2012/09

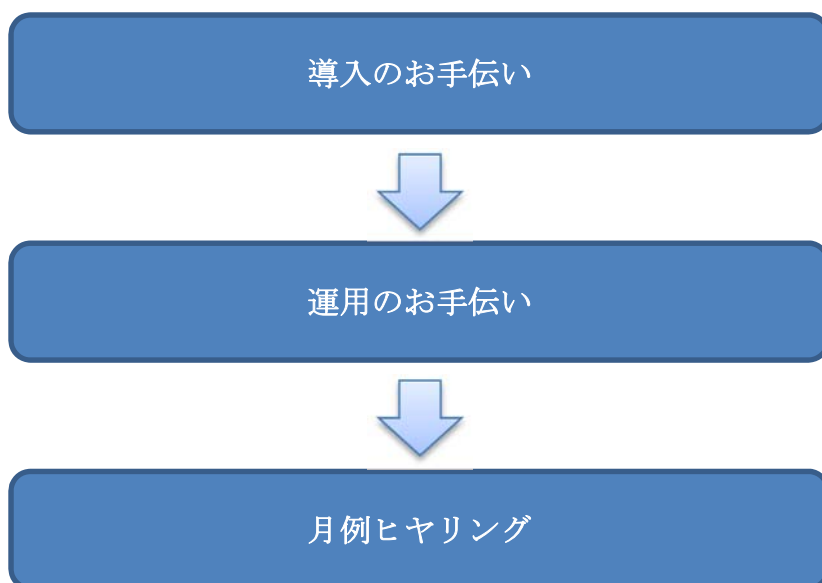
"震災復興工事で、信頼性の高い構造物を効率的に作りたい"そんな施工業者様の熱意を情報化施工で支援いたします。情報化施工を使ってみたい、情報化施工で震災復興を迅速に実施したい施工業者様を募集します。対象の施工業者様には、情報化施工導入・実施に関するトータルコンサルティングをさせていただき、施工現場にあった機材の提案及び一部の機材を無償にて一定期間貸与致します。

1. 工事までの流れ

導入までの流れ



導入からの流れ



2. 募集要項

対象工事

東日本大震災の被災地で施工される復興工事(情報化施工の使用を発注者が指定している工事は除く)で、申し込みをいただいた施工業者様が既に受注している工事。

1. 支援させていただく工事件数については、都合上3～6件に限らせて頂きます。
2. 申し込みをいただいた施工業者様が多かった場合には、当会にて厳正なる抽選とさせていただきます。
3. 工事例 河川土工、道路土工、舗装工など

応募資格

東北6県に本社を置く上記対象工事の元請の施工業者であり、情報化施工について未経験だが対象工事で情報化施工に取り組むという会社を支援の対象とします。

提供内容

1. 次ページ 参照
2. 情報化施工導入の総合コンサルティング
3. コンサルティング次第にて、情報化施工対応に伴うブルドーザ・モータグレーダ・バックホウに搭載する情報化施工用センサーの一部を無償貸与（提供できる機器・期間については工事内容状況次第）
4. 情報化施工実施に伴うサポート対応
※ただし、チャレンジ業者様には、当会のサポートに対応する専任者の選出を必須条件とさせていただきます。

提供条件

1. 上記にも記載しておりますが、情報化施工の実施に伴い、情報化施工の専任者（監理技術者または施工管理実務歴5年以上が原則）を選出していただき、その専任者に対し、情報化施工の教育・アドバイス・サポートをさせていただきます。
2. 当該現場での見学会開催等をお願いする場合があります。
3. 三次元設計データは積極的に施工業者様で作成、責任を負っていただきます。
4. 施工工程削減等の効果についての調査・発表にご協力いただくことがあります。
5. 今回の支援は、情報化施工が復興工事に有効であることを確認することを目的として支援するものであり、当会が施工の責任を持つものではありません。

3. 応募方法

以下のメールアドレスにて応募ください。（8月下旬に公開予定）

Email:reconstruction-ict@cmi.or.jp

以上

表—1：提供内容

種目	内容		無償	備考		
0. 導入コンサルティング	効果のある情報化施工機器の選定		○			
I. ハードウェア	1	ブルドーザ	重機本体	×	情報化施工対応重機をお客様負担にてレンタルをお願いいたします。通常重機と同じレンタル費にて提供致します。	
			センサー部	○		
		モータグレーダ	重機本体	×	情報化施工対応重機をお客様負担にてレンタルをお願いいたします。通常重機と同じレンタル費にて提供致します。	
			センサー部	○		
		バックホウ	重機本体	×	情報化施工対応重機をお客様負担にてレンタルをお願いいたします。通常重機と同じレンタル費にて提供致します。 または、所有のバックホウに装着することも可能です。	
			センサー部	○	所有重機をご利用希望の場合には、センサーブラケットを溶接致しますので、ご了承下さい。	
		2	トータルステーション		×	
		3	GNSS 基準局		△	お打合せによって決定
4	GNSS 移動局		×			
II. ソフトウェア	1	三次元設計データ作成ソフト		△	お打合せによって決定。	
	2	MC/MG 用ユーティリティソフト		○		
III. 現場全体サポート	1	情報化施工センサー装着	ブルドーザ	○	所有重機をご利用希望の場合には、センサーブラケットを溶接致しますので、ご了承下さい	
			モータグレーダ	○		
		バックホウ	○			
	2	重機回送		×		
	3	現場導入→キャリブレーション、初期設定		○		
	4	現場導入教育→3日間		○		
5	通常サポート→専任者とのやり取り *トラブル対応 *メール、TEL、訪問(定期サポート1~4回)		○			